

～安全運転をあたりまえの習慣に～

次世代AIドラレコサービス DRIVE CHART



DRIVE CHART®

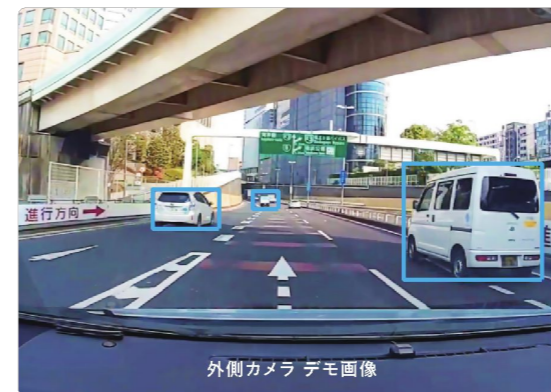


次世代AIドラレコサービス「DRIVE CHART」とは

- AIを搭載した通信型のドライブレコーダーです。
- 常に運転を分析し、脇見・車間距離不足などの事故に繋がるリスクのある運転行動を発見します。
SDカードを抜き出していちいち動画を確認する必要がないので、交通事故削減のための運転改善・ドライバー指導を効率的に行うことができます。

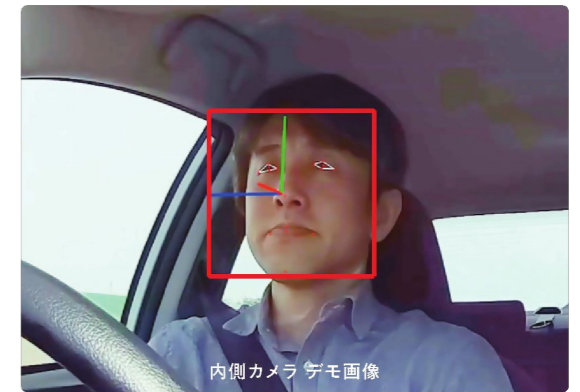


通信型ドライブレコーダー



外側カメラ デモ画像

車両・二輪車・歩行者・車線を検知



内側カメラ デモ画像

顔の向き・目の開閉度を検知



脇見



車間距離不足



一時不停止



速度超過

こんなお悩み、ありませんか？

たまに起きる

大きな事故が

なかなかゼロにならない…

テレマティクス等を
導入しても

社員が忙しく

なかなか活用されない…

安全運転指導は事業活動

の

本筋ではないため、

ないがしろ

にされがち…

それ、ドライブチャートで解決できます！

DRIVE CHARTでできること

AIを駆使したドライブレコーダーがドライバーの運転を常に解析し、
営業車の交通事故の未然防止・安全運転文化の醸成を実現します

どんなに対策を取っても
毎年一定の件数の事故が
起きてしまう…

「携帯禁止」「道交法遵守」
などの呼び掛けを行っても
社員の当事者意識が高まらない…

テレマティクス等を
導入しても社員が忙しく
なかなか活用されない…

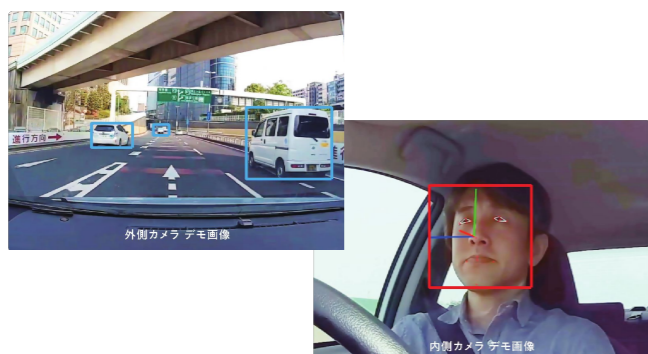


脇見・車間距離不足など
**事故に繋がるリスクの
早期発見・対策**により、
事故を起こしにくい運転へ

ドライバーの癖や習慣が分かる
レポートを自動で作成。
**ドライバーに合わせた
気を付けるべきことを
直接フィードバック**

毎週配信のサマリーメールで
**忙しい社員も短時間で
レポートをチェック！**
新たな負担にならずに導入可能

AIによるタイムリーな画像解析



ドライバー別の運転レポート (イメージ)



サマリーレポート画面 (イメージ)



DRIVE CHARTによる新しい安全指導習慣のご提案

毎週配信されるサマリーメールを活用し、新たな業務負荷となることなく
安全運転の習慣化に向けた振り返りを行っていただくことができます



AIによるリスク運転の検出項目

- AI解析により危険シーンを自動で抽出し、WEB上で簡単に該当シーンの動画を閲覧いただけます
- 緊急度の高い危険シーン（★）を検出すると、リアルタイムで管理者にメール通知が届きます

検出可能な項目



脇見



車間距離
不足



一時
不停止



制限速度
超過



急後退



急加速



急減速



急ハンドル



脇見警報
(★)



車間距離警報
(★)



眠気警報
(★)



前方衝突警報
(★)



衝撃
(★)



マニュアル録画
(★)

研究中の項目

シーン別危険速度 /
歩行者・自転車保護
など

緊急度の高い
危険運転シーン（★）を
検出するとリアルタイムで
管理者に通知されます



充実した車両管理・稼働分析機能

- 誰が、どの車両を、どのように利用したか、クラウド上で車両管理・分析ができます
- 危険運転状況の定常モニタリング、緊急性・危険度の高い運転を検知した際はメールで通知します

車両管理



氏名	走行時間	走行距離
田中一郎	32時間00分	169.5km
山田二郎	21時間59分	205.6km
佐藤三郎	16時間10分	134.2km

日報・月報自動作成機能

車両別/ドライバー別の走行データをもとに日報/月報を自動生成。ダウンロードもでき、帳票管理を大幅に効率化。

【NEW】
アルコールチェッカー連携が可能になりました！



走行軌跡表示

地図上で一日の走行ルートを車両別に確認ができる。配送ルートや車両配備の最適化に向けた検討にも活用することが可能。



遠隔動画取得機能

事故が起きた、トラブルの連絡があった。そんな時でも車が戻ってくるのを待たずに事務所から遠隔で映像のダウンロード・確認が可能に。



ライブマップ機能

車両の位置、直近のリスク運転が発生した場所を地図上に描画。タイムリーな指示出しやエリア別の運転傾向把握が可能に。

運用支援



ヒヤリハット通知メール

緊急性や危険度が高い項目の検出時には警報でドライバーに知らせ、管理者にもメール通知。双方リアルタイムで危険発生を共有。



週次サマリーメール

前週に発生した危険運転数を管理者とドライバーの双方に毎週配信。メールを見るだけで簡単に運転の振り返りを継続。



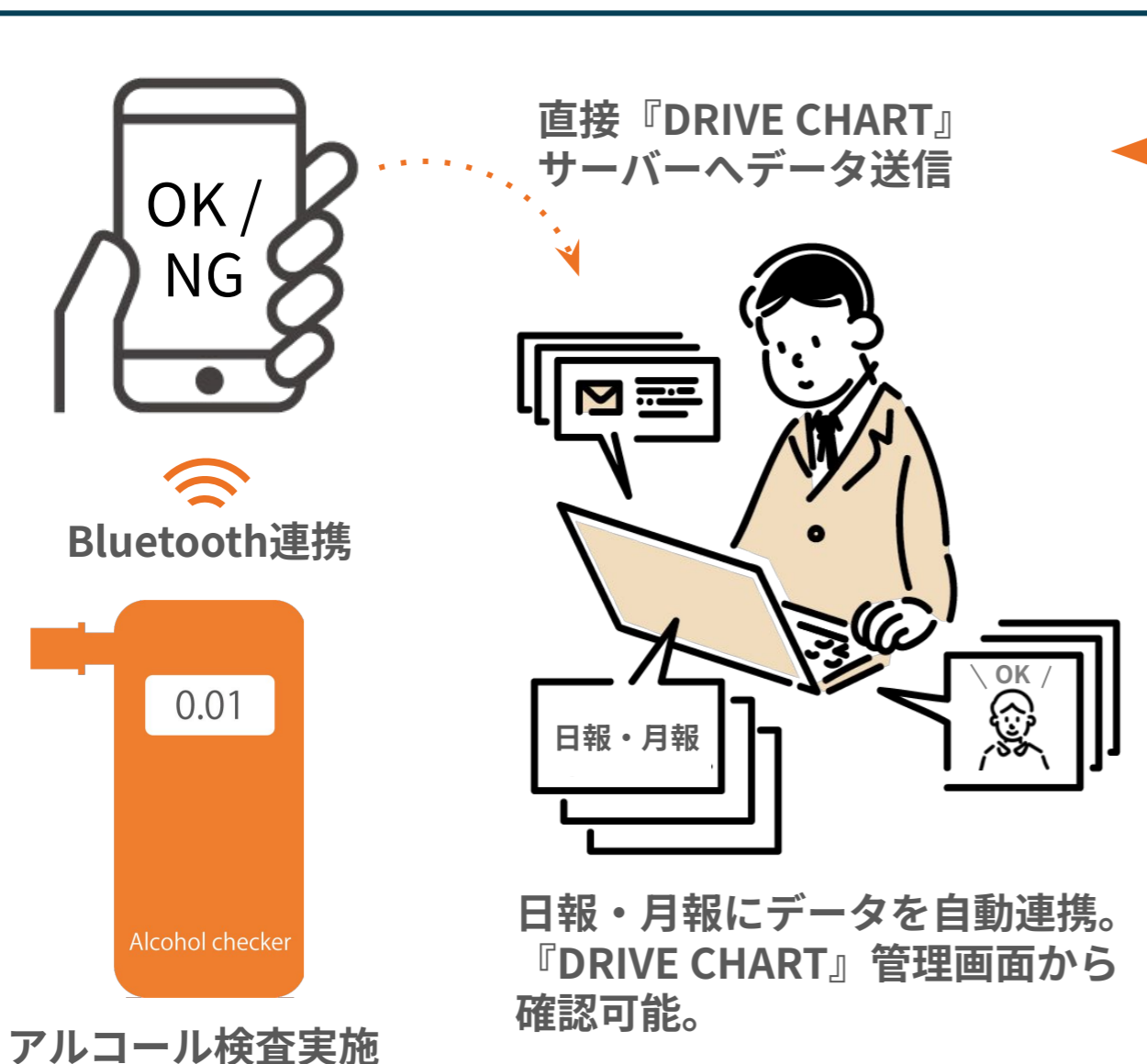
改善運用専門スタッフが支援

事故削減に向けた運用プロセス設計、車両の稼働状況や運転状況の分析、改善提案など、運用に特化した専門チームがサポート。

アルコールチェックデータとの連携

- 対応するアルコール検知器の場合、アルコールチェックを実施したデータを直接『DRIVE CHART』のサーバーに送信し、自動でデータ連携できるよう開発を予定しております

データ連携イメージ



データ連携で得られるメリット

① 帳票管理の一元化が可能！

アルコールチェッカーの検査結果を端末を通じて連携することで、帳票を一元管理することが可能。
走行実績の有無や走行時間とアルコールチェックのタイミングの突き合わせが不要なため、いろいろなシステムを1つずつ確認する必要なく、**管理工数を削減**できます。

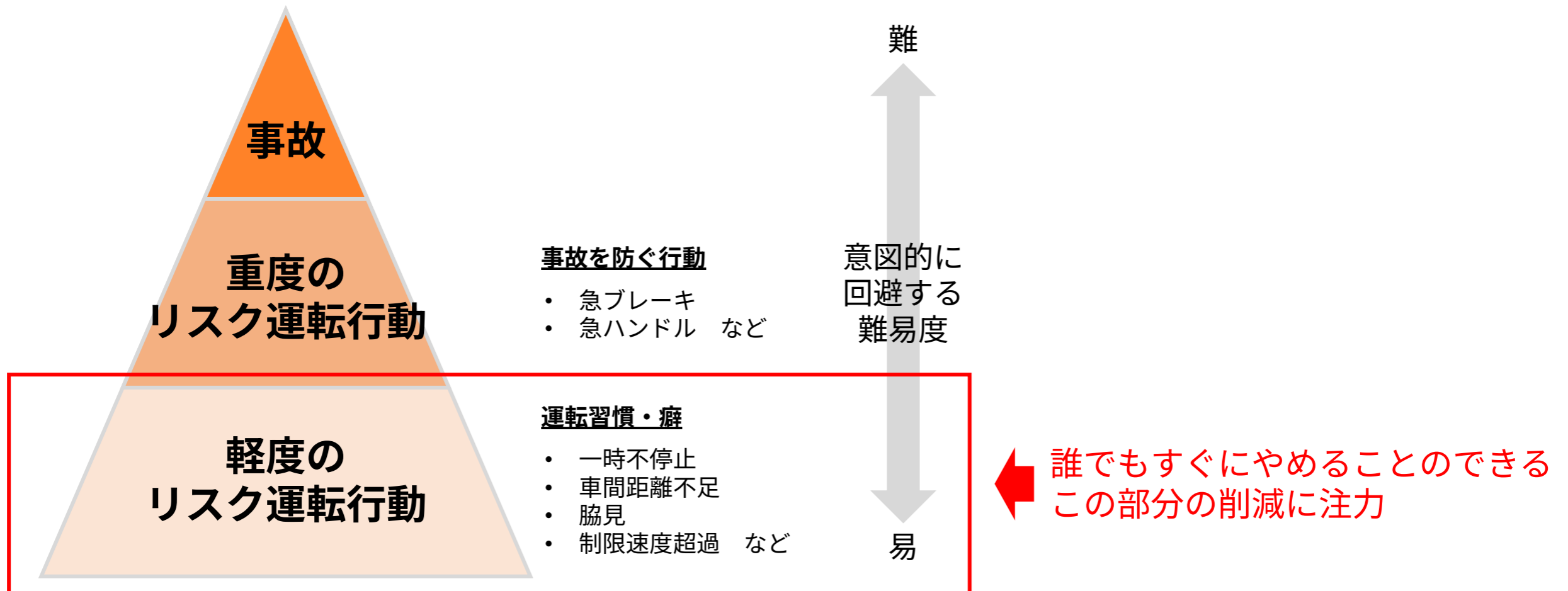
② 直行・直帰時もきちんとチェック・データに反映

会社以外の場所から発着したときも、検知器を使用したかどうか、きちんと確認できます。
また直行・直帰だったかどうかを記入することもでき、車両の使用状況や労務管理との整合性も確認することができます。

DRIVE CHARTによる事故削減方法の考え方

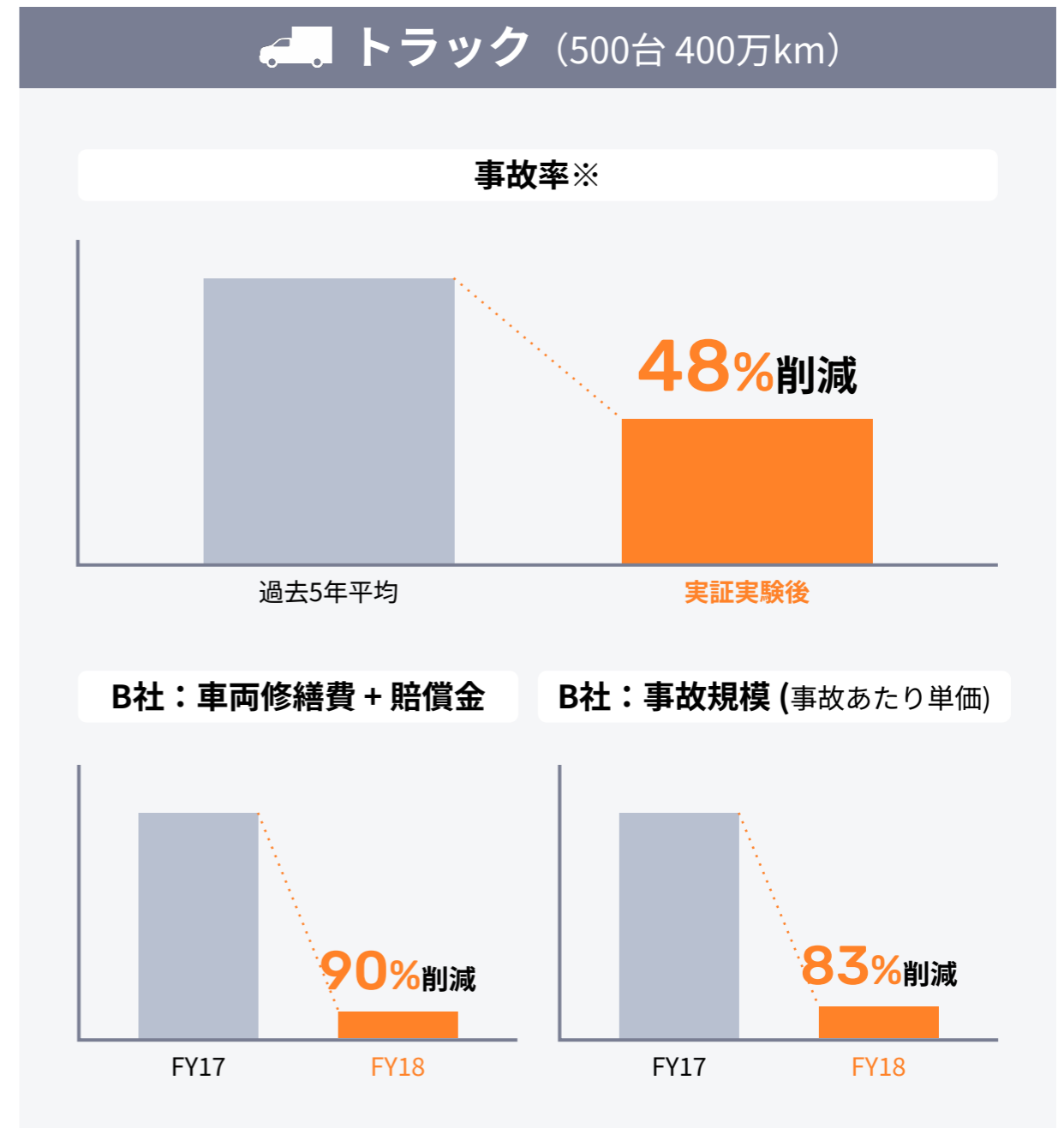
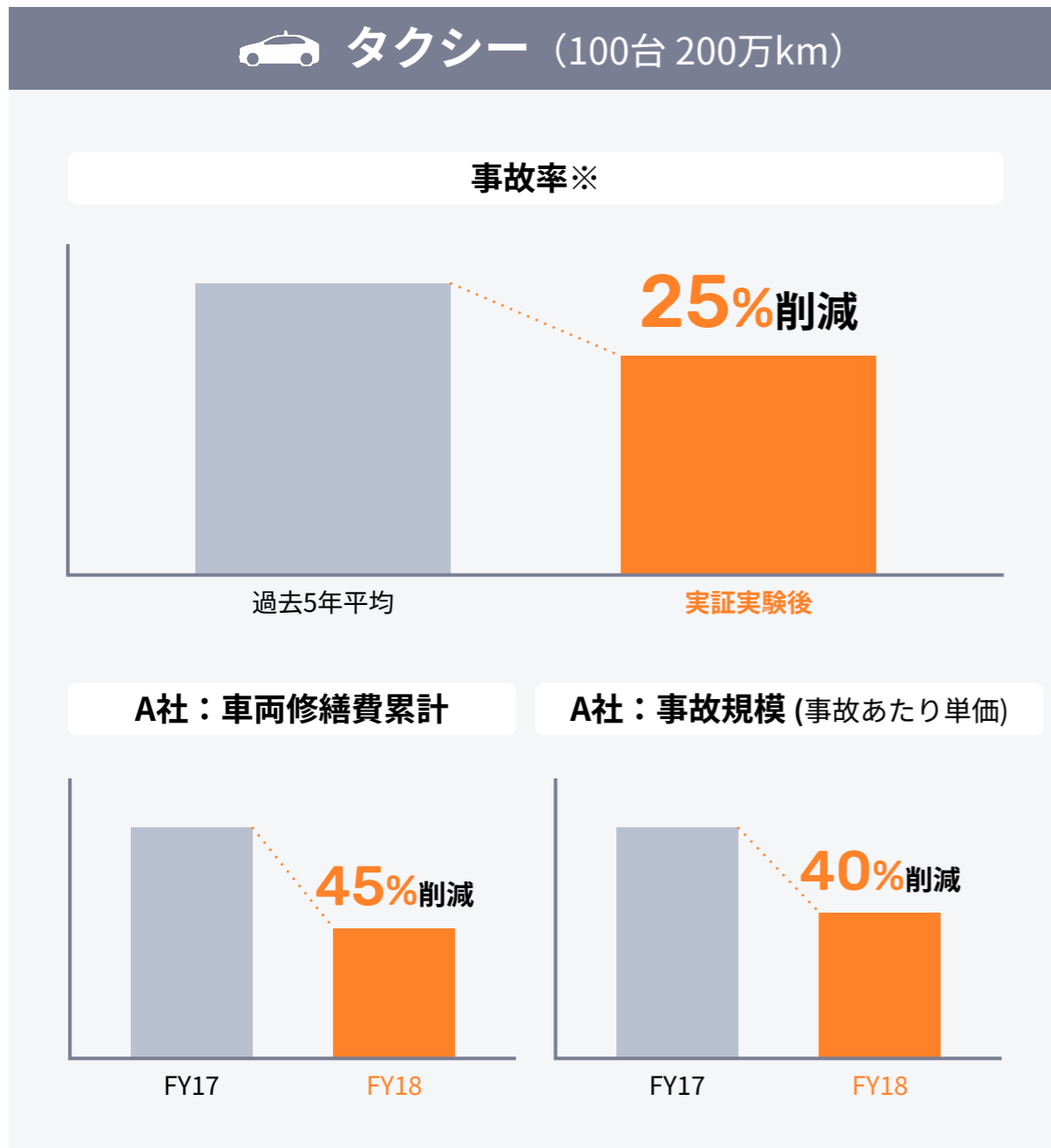
- DRIVE CHARTがまず目指すのは、**誰でも止めることができる「軽度のリスク運転行動」の削減**です。
- 軽度のリスク運転行動を駆逐するためのコミュニケーションを継続的に行うことで、その先にある重度のリスク運転行動（事故回避行動）を減らし、事故削減を実現します。

<事故の背後にあるリスク構造>



実証実験による効果測定結果

- 2018年4月～10月にかけて、タクシー及びトラックの数百台において実証実験を実施。
- 事故率の削減**や**自社車両の修繕費削減**でも効果が現れた上に、**事故規模の縮小**も確認されました。



※10万走行kmあたりの事故発生件数 ※効果は実証実験での参考値、過去5年の同時期平均と比較したもの

導入実績

- 製薬、介護送迎、自家物流、インフラ・工事、営業、
運送会社、タクシーなどの幅広い業種・利用のお客様にご導入いただいています

製薬・食品・インフラ・営業など



介護・送迎



タクシー



物流



※上記はご導入企業の一部です

会社概要

- 自動車の「運転」をより安全に、より便利に進化させ、
日本社会を支える基幹インフラの一つであるモビリティの発展を「ドライブ」します



社名	GOドライブ株式会社(英語表記: GO Drive Inc.)
本社所在地	〒101-0065 東京都千代田区西神田 1丁目1番1号 オフィス21ビル7F
事業内容	車両管理を行う企業の安全管理サポートなどモビリティ関連事業 ・事故削減支援を行う次世代 AIドラレコサービス『DRIVE CHART』の開発・運営 ・次世代のデータ活用基盤の開発を行う、道路情報の自動差分抽出プロジェクトなど ・業務用車両の運転管理支援サービス『GO運転管理』の開発・運営
設立	2025年8月1日 ※2025年8月1日GO株式会社より会社分割(新設分割)により設立
役員	代表取締役社長 川上 裕幸

お問い合わせ先

■電話番号

03-6706-7084

■FAX

03-3409-4563

■メールアドレス

contact@drive-chart.com

■ホームページ

<https://drive-chart.com/>